

事務事業名		19500 環境衛生事務費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	環境課	担当班	環境政策班
② (環境基本計画)(地球温暖化対策実行計画)				一般	4	1	4			☒	主な事業
基本施策 23 良質な環境の保全			根拠法令	旭市環境基本条例、地球温暖化の推進に関する法律						☒	国土強靱化地域計画
施策の展開 43 自然環境の保全			戦略事業	208 環境基本計画の見直し及び地球温暖化対策実行計画の策定						☐	新市建設計画
施策の展開			戦略事業							☐	定住自立圏構想
										☒	主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	I. 自然豊かな郷土を次世代に引き継ぐため次期「環境基本計画」を策定して環境施策に取り組んでいく。 II. 平成25年度策定「地球温暖化対策実行計画」に基づき平成24年度の温室効果ガス排出量を基準として平成26～30年度までに3.8%削減するための取り組みを行う。旭市総合戦略においては平成26年度の温室効果ガス排出量を基準として平成27～31年度までに3.8%削減を目標としている。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
I. 旭市環境基本計画は、旭市環境基本条例第9条の規定により策定する。II. 法により地方公共団体は、温室効果ガスの排出抑制のための施策を行うこととされている。	・平成29年度環境基本計画を策定し、目標とする環境像の実現に向けた施策を展開していく。・地球温暖化対策推進実行計画で旭中央病院は対象となる組織・施設から除外となった。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
身近な生活環境や廃棄物分別への苦情関心が多い。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円
1.委託料(基本計画)	0.旭市環境基本計画策定業務委託	
② 特定財源の内訳(30年度の決算)	単位:千円	
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
事業費計 (A)	1.委託料(基本計画)	千円	0	5,778	0	0	0
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
財源	1.国庫支出金	千円	0	5,778	0	0	0
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	0	5,778	0	0	0

前年度増減理由	増減なし
---------	------

従事職員数	常時 3 人	最大 5 人 × 11 日 = 延べ 55 人
-------	--------	-------------------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
30年度実績(30年度に行った主な活動)	きれいな旭をつくる会議2回、環境審議会0回、合計2回	ア 環境審議会・きれいな旭会議開催回数	回	3	6	3	2	5
	平成30年度における温室効果ガス排出量調査(各課へ依頼)及び結果の公表(HP・広報等)	イ 電気使用量 ※中央病院除く	kw/h	11,537,557	11,630,715	11,680,839	11,282,668	11,338,200
地球温暖化対策推進実行計画の改訂								

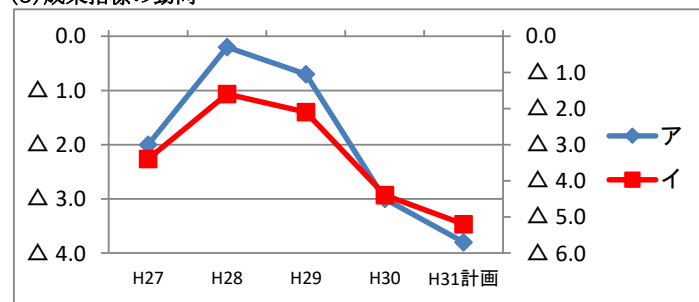
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
対 象	市の施設	ア (平成26年度基準) 温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く	%	△2.0	△0.2	△0.7	△3.0	△3.8
	市の施設	イ (平成24年度基準) 温室効果ガス排出量比 ※中央病院除く	%	△3.4	△1.6	△2.1	△4.4	△5.2
意 図	平成26年度を基準に、平成27～31年度までに温室効果ガス排出量を3.8%削減する。(旭市総合戦略)							
	平成24年度を基準に、平成26～30年度までに温室効果ガス排出量を3.8%削減する。(地球温暖化対策実行計画)							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤		(8)	
成果優先度	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ
成果指標のタイプ	数値減＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下
【コメント】(低下の場合、その理由)	
③ 今年度取組事項(31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 内容 今後の方向性
	化石燃料由来の電力の削減に繋がるよう推進する。
	現状維持 ☒ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()
	改訂後の地球温暖化対策推進実行計画に基づき、温室効果ガスの削減を進めていく。